



社会福祉学部4年 中嶋茜さん出場
 ロンドン2012パラリンピック
 ゴールボール女子
祝！優勝

第12号

発行：東北地域ブロックセンター

発行日：2012年10月25日

最上町との『友好協力宣言』締結から10周年

2002年、日本福祉大学と山形県最上町との間で、友好協力宣言が締結されました。地域住民および学生の未来のための豊かな学習活動の支援や、地域社会の創造・まちづくりに関する共同の取り組み等、行ってきました。

締結から10年を迎えた今年の8月27日、東北地域ブロックセンターが設置されている最上町立中央公民館にて、10周年記念行事が行われました。町側からは、かつて社会福祉実習の受け入れ等でお世話になった方々や新庄北高最上校の教諭が、大学側からは、最上町出身の卒業生や町での実習経験者等、60名以上の方々にご出席いただきました。

式典では、町と大学を代表し、田中実副町長と黒川道男専務理事より挨拶をいただき、最上町の絆大使に任命されている加藤幸雄学長からのビデオメッセージの上映がありました。

式典後は、社会福祉学部の小松理佐子先生による10年間の歩みを上映しながら振り返っていきました。卒業生からは大学で学んできたこと、最上町での実習で得たこと、自分にとっての最上町とはどういうものか等語られました。高校の先生からは生徒を日福に送り出して思うこと、実習生を受け入れた地域の方や施設の方からは当時のエピソード等が述べられました。友好協力宣言を締結したことによる意義やこれまでの成果を糧に、今後も協力し合いながら、相互の更なる発展を誓い合いました。



▲左より最上町の田中実副町長、日本福祉大学の黒川道男専務理事

日本福祉大学セミナーinいわて～東日本大震災からの復興を、ふくしの視点で考える～

9月2日、岩手県民情報交流センターアイーナにて、日本福祉大学セミナーinいわてが開催されました。東日本大震災の多くの課題を抱えている中で、被災当時の状況から復興に向けた取り組みを振り返り、福祉に携わる者としてどう活動すべきかを参加者とともに考えていくという趣旨のもと開かれたものです。当日は東北各県の同窓生や地元の方々等、100名以上の方々のご参加がありました。



午前中は、岩手県北上市出身で健康科学部教授の片方信也先生による「被災から生活空間の再生へ～大震災の困難から立ち直るために～」と題した基調講演を行いました。

午後の分科会では、行政・施設・学校・地域の4分野に分かれ、同窓生や関係者が被災の被害状況や現在の取り組み等を報告し、参加者で意見交換を行いました。各分科会には片方先生や社会福祉学部の原田先生、野尻先生、野口先生が同席し、将来安心出来る生活のために、どう取り組んでいくべきか、様々な視点から熱い議論が交わされました。

セミナー開催に向け、気合十分！ 岩手県地域同窓会総会

8月11日、岩手県民情報交流センターアイーナにて、岩手県地域同窓会総会が開催され、同窓会員、関係者合わせて12名が参加されました。

23年度の活動報告と収支報告、24年度活動計画と24年度収支予算が行われ、承認を受けました。

「日本福祉大学セミナーinいわて」についても、開催まで1ヶ月を切っているため、皆さんの熱い意気込みが感じられる話し合いとなりました。



岩手県の地域同窓会は毎年総会を開催していますが、これまで以上に気合の入った、8月の暑さにも負けない総会となりました。

● ここにも日福

株式会社PHP研究所が主催する第21回山本七平賞で、本学の社会福祉学部教授である川田稔先生が執筆した『昭和陸軍の軌跡』（中公新書）が正賞を受賞しました。

山本七平賞とは、評論家の故・山本七平氏の業績を讃え、政治・経済・歴史・思想・宗教・比較文化等の人文社会科学部門の優れた作品を表彰するものです。

川田先生、おめでとうございます！



< 内容紹介 >

昭和10年8月12日、一人の軍人が執務室で惨殺された。陸軍軍事局長永田鉄山。中堅幕僚時代、陸軍は組織として政治を動かすべきだとして「一夕会」を結成した人物である。彼の抱いた政策構想は、同志であった石原莞爾、武藤章、田中新一らにどう受け継がれ、分岐していったのか。満蒙の領有をめぐる中ソとの軋轢、南洋の資源をめぐる英米との対立、また緊張する欧州情勢を背景に、満州事変から敗戦まで昭和陸軍の興亡を描く。(中央公論新社HPより)

卒業生の声 現在の仕事に就くきっかけにもなった、4年間のサークル活動やボランティア活動

私が日本福祉大学を選んだ理由は、高校の担任教諭に福祉の勉強をしたいと相談したところ、名古屋に良い学校があるからと紹介してもらったこと、取り寄せたパンフレットの内容に好感が持てたこと、なるべく東京よりも遠いところに行きたかったことなどです。

名古屋の厳しい暑さに汗ばかりかきやせ細っていた4年間でしたが、大学の授業よりもっぱらサークル活動やボランティア活動に入れ込んでいました。中でも強く印象に残っているのは、2年次に見



島美都子先生のご指導の下、「堀木訴訟」の裁判資料の作成を目的とした名古屋市内の視覚障害者の生活実態調査に取り組み、何人もの方々から生の声を聴かせていただいたことです。また、3～4年次には、今は亡き石黒大義先生がスー

パーバイザーをされていた「障害児とその家族の会」の療育ボランティア活動に参加し、初めて「自閉症」という障害を持った子どもたちと遊んだりする機会を得て、現在の仕事に就くきっかけにもなりました。

卒業後は岩手に戻り、岩手県社会福祉事業団の職員となり、障害児・者の支援施設を中心に30年間仕事をさせていただいた後、障害者支援ネットワークの事務局業務を経て、現在はNPO法人の職員となり、知的障害を持つ方々の就労支援に携わっています。

地域同窓会の会員については、枅中世代から美浜世代へ、さらには通信世代へと大学の変遷とともに、その様相にも変化が見られてきておりますが、これからの活動の在り方については、枅中時代の思い出は大切にしながらも、世代を超えた会員同士の交流と切磋琢磨により、お互いの仕事や人生にとっての学びの場として機能出来ればと考えております。

(日本福祉大学同窓会 岩手県地域同窓会
副会長 伊藤 洋さん)

学生奮闘記 「自分のやりたいことは何なのか？」自問自答を繰り返しながら まっすぐに突き進み、積極的に動く。その結果出会った、「行きたい大学」。

Q. 日本福祉大学に入ったキッカケは何ですか？

A. キッカケは、進学相談会に行ったことです。まだ日福が第一志望ではないこと、英語がついていけるか不安だけど国際も福祉も学びたいこと…相談会で担当だった柴田さんに、自分の意見を全て話しました。柴田さんは「英語が得意な人ばかりではないし、国際と福祉両方学べる大学は他に無い。何より自分の目標から逃げてはいけない。」等、大学を選ぶ時やこれからの人生で大切なことを教えて下さいました。日福は大学を調べ始めた時に一番最初に気になった大学でしたが、その時までは第一志望というわけではありませんでした。ですが今まで自分が不安に思っていたこともなくなり、この時に「日福に行く！」と決めました。

Q. 大学生活はいかがですか？

A. 仲の良い友達ができ、とても楽しいです。国際福祉開発学部は人数が少ない分、先輩たちや学部の人みんなと深く仲良くなれます。勉強は、毎日英語で正直大変です。しかし、この勉強がフィールドワークや将来に役立つと思うと頑張れます。きちんと身につけているなど実感出来る時もあるので、やりがいがあります。



Q. 現在どんな勉強をしていますか？

A. 基本的には毎日英語を勉強しています。基礎の部分を集約的にやったり、英語でのプレゼンの授業やPC等を使った授業など、ずっと英語です。英語が苦手な私にとっては最初は心配でしたが、勉強したことは必ず役に立つし、何より自分の語学力が上がったことを実感出来るので楽しいです。英語の他には心理学や法律や環境のことなど、取る科目によって様々な分野を学ぶことが出来ます。単位がかかっているのが高校とは全く違い、テスト期間は必死になって勉強しました。大学は先生が何とかしてくれるわけではないので、自

分がきちんと勉強しないと全部が駄目になってしまいます。毎日きちんと勉強していくことが大切だと実感しています。

Q. 一人暮らしはいかがですか？

A. 来たばかりの頃はホームシックにかかっていたが、今は慣れました。自炊は出来る範囲でやっていますが、最近は買って済ませてしまったりと自炊の回数が減ってきました。食費を抑えるには自炊をした方がいいですね。一人は寂しいけど友達が泊まりに来てくれたり、アパートの人たちと集まって食事をしたり、先輩と遊んだりと楽しいことの方が多いです。

Q. 将来の目標は何ですか？また、それに向けてどんなことを頑張りたいですか？

A. 今考えているのは、空港や鉄道会社などの企業に就職したいと考えています。自分の仕事が誰かを笑顔に出来て、それが身近に感じられる仕事がいいなと思っています。4年間英語を勉強するため、英語をたくさん使う仕事や、海外と繋がりのある企業に就き、大学を卒業してからも外国と関わりを持っていきたいと思っています。また、国家資格なので難しいとは思いますが、社会福祉士の免許も取得し、福祉の分野でも活躍したいです。

Q. 大学進学を目指す高校生の方へ、アドバイスやメッセージをお願いします。

A. 今自分がやりたい、学びたいと思っていることから逃げないでください。「自分にはどうせ無理だ」と勝手に限界を作らないで、最後まで戦ってみてください。そうしたらきっと大学生活は楽しくなると思います。大学は自分が学びたいことを学べる場所です。人生一度きりなので、自分のしたいこと、こうなりたいと思ったらまっすぐに突き進んでください。今まだ悩んでいるなら、先生や大学の説明会など自分から積極的に動いてみてください。自分が本当にしたいこと、学びたいことが何なのか自問自答を繰り返しながら進んでいってください。きっと自分が行きたいと思う大学があるはずです。頑張ってください！

国際福祉開発学部国際福祉開発学科1年
笠井 実香さん（福島県須賀川高校出身）

入試インフォメーション

今年度も東北各県での進学相談会はおかげさまで終了いたしました。9月に入り、AOやスポーツ推薦、文化・芸術系部活動等推薦を皮切りに、2013年度入試がスタートしました。

入試についての詳細は、必ず「入試ガイド2013」や「入学試験要項」をご確認の上、ご出願ください。

目的意識、熱意、意欲をアピール出来る人には

◆AO入試<後期>

出願期間 11月26日(月)～12月3日(月)

試験日 12月16日(日)

合格発表 12月19日(水)

試験会場 日本福祉大学美浜キャンパス

※出願するには**本学教職員との1回以上の面談**が必要です

◆スポーツ推薦入試一般枠/指定種目枠<中期>

◆文化・芸術系部活動など推薦入試<中期>

出願期間 12月3日(月)～12月10日(月)

試験日 12月16日(日)

合格発表 12月19日(水)

試験会場 日本福祉大学美浜キャンパス

小論文が得意な人には

◆一般推薦入試<前期>

◆専門高校・総合学科等推薦入試<前期>

出願期間 11月1日(木)～11月16日(金)

試験日 11月25日(日)

合格発表 12月1日(土)

試験会場 日本福祉大学美浜キャンパス

◆一般推薦入試<後期>

◆専門高校・総合学科等推薦入試<後期>

出願期間 12月3日(月)～12月10日(月)

試験日 12月16日(日)

合格発表 12月19日(水)

試験会場 日本福祉大学美浜キャンパス

◆高卒認定、定時制・通信制高等学校入試

出願期間 11月1日(木)～11月16日(金)

試験日 11月25日(日)

合格発表 12月1日(土)

試験会場 日本福祉大学美浜キャンパス

得意科目を活かしたい人や、 センター試験の受験を考えている人には

◆大学入試センター試験利用入試<前期>

全科目出願型

出願期間 12月26日(水)～1月18日(金)

合格発表 2月16日(土)

5教科5科目型/3教科3科目型/2教科2科目型

出願期間 1月4日(金)～2月1日(金)

合格発表 2月16日(土)

◆一般入試<前期>

A方式(3教科型)/B方式(2教科型)

出願期間 1月4日(金)～1月25日(金)

試験日 2月3日(日)・4日(月)・5日(火)

合格発表 2月16日(土)

試験会場 全国27会場(東北は下記3会場です)

青森(2月3日)青森県観光物産館 アスパム

山形(2月3日)ホテルサンルート山形

仙台(2月5日)ショーケー本館ビル

※詳細は入学試験要項でご確認ください。

日本福祉大学 山形最上オフィス

〒999-6101

山形県最上郡最上町大字向町674番地 最上町立中央公民館内

TEL:0233-43-9232 FAX:0233-43-2350

MAIL:yamagatabc@ml.n-fukushi.ac.jp

(open 火～土 10:00～18:00 close 日・月・祝)

※ブロックセンターブログもご覧ください

ブログURL <http://blog.n-fukushi.ac.jp/bc-yamagata/> (PC・携帯共通)

